

意見公募手続の結果について

1 募集方法

- (1) 募集期間 平成 27 年 10 月 10 日（土）～平成 27 年 11 月 9 日（月）
- (2) 意見を提出できる者
 - ① 市内に住所を有する者
 - ② 市内の事業所等に勤務する者
 - ③ 市内の学校に在学する者
 - ④ その他この案に関し利害関係を有する者
- (3) 案の閲覧方法
 - ① 政策企画課、各市民センター、南連絡所、本川越駅証明センター、各公民館、各図書館
 - ② 川越市ホームページからの閲覧
- (4) 意見提出方法
 - ① 直接持参
 - ② 郵送
 - ③ ファックス
 - ④ 川越市ホームページからの電子申請

2 結果概要

- (1) 意見提出者 6 名
- (2) 意見件数 19 件

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略意見公募手続 提出意見一覧

番号	意見の要旨	市の考え方
1	総合戦略の方向性については賛成だが、戦略の中にサステナブル(持続可能)という考え方を持ってほしい。	総合戦略では、地域産業や活力が持続するよう「まち・ひと・しごと」の好循環を生み出すことを目指しております。
2	総合戦略を実施するにあたって、市民および川越に関係する人、団体をどう巻き込んで行くか具体的に説明してほしい。	総合戦略の取組を実現していくためには、産官学金労言等さまざまな分野の関係団体等と連携を図りながら事業を進める必要があります。そのための具体的、効果的な連携につきましては、事業内容を踏まえ、取り組んでまいります。
3	近隣の市町村との連携も必要と考えるが、人口減に対しては市町村合併や政令指定都市を目指す方向もあるとおもわれる。	本戦略は、人口減少に歯止めをかけることを目的としています。なお、広域連携による人口減少対策については、ご意見として承らせていただきます。
4	ハイテク関連企業としては、製造業よりソフト開発や研究開発拠点の誘致が必要である。	企業誘致については、第四次川越市総合計画に位置つけた施策の中で検討してまいります。
5	プロジェクト「ものづくり長屋 川越」における「文化創造インキュベーション」の考えについては賛成であるが、どちらかという文化系の内容が多い。理科系の産業支援も必要であると考えます。	産業支援に対する包括的な取組として、新たなプロジェクト「しごと暮らし 川越」を追加し、若者の地元就業支援や多様な働き方の支援等の施策を位置づけることといたしました。
6	市内および近郊に大学が多数あるため、これらと連携した取組を支援することが必要。 例えば、埼玉医大病院と連携してグリーンツーリズムと介護・デイサービスを合わせた拠点を設置する。 蔵建築を現在に生かすための拠点を東洋大学の理工学部と連携して設置する。 できれば、建築学科か都市環境デザイン学科を市内中心部へ誘致し、併せて学生が市内に居住できるようにする。 川越食材開発で女子栄養大学と連携する。	総合戦略を実施する中で、大学等の教育機関等と連携を図ることは、事業の実現に有効と考えております。いただいたご意見も参考にしながら、効果的な手法について検討してまいります。

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略意見公募手続 提出意見一覧

番号	意見の要旨	市の考え方
7	川越には、サツマイモ、緑茶等すでに高いブランド品があるが、さらに磨きをかけるために、海外へのPRも含めて再検討することが重要。海外では抹茶の人气が非常に高いため、これを恒常的に提供(情報・実物)できる場所の設置が必要。	戦略1のプロジェクト「健康食レストラン 川越」において、まずは、外国人も含めた観光客に味わってもらうための取組である地域に根ざしたブランド展開や、川越産農産物を提供する場所としての健康食レストランの設置に取り組んでまいります。
8	従来のように高齢者施設や保育施設を別々に整備するのではなく、幼老複合施設(特別養護老人ホームと保育園の併設など)に取り組んでみたらどうか。 そしてそのようなところに地域のコミュニティセンターを併設したらどうか。	特別養護老人ホームや保育施設については各事業計画に基づき計画的に整備しており、複合施設などのあり方については、今後研究してまいります。 なお、総合戦略のプロジェクトである「すくすくかわごえ」においては、多世代交流ができる場として子育て安心施設の整備を位置づけております。
9	川越市人口ビジョン(原案)からは少子化と高齢化の長期抜本的解決策が見えない。若い男女が安心して子どもを産み育てる倫理と制度の普及をビジョンに盛り込みたい。 例えば、川越市の大学や専門学校で学ぶ学生を対象にした託児所を設置する。出産の若年化は、安心して子を産める社会を実現する。	川越市人口ビジョンは、総合戦略を策定するための基礎資料として、人口に対する認識の共有と人口の将来展望を示すことを目的としております。 若者が安心して子どもを産み育てる環境づくりについては、総合戦略における戦略2のプロジェクト「すくすくかわごえ」において、保育機能を併せ持つ子育て安心施設の整備を位置づけております。
10	「すくすくかわごえ」のプロジェクトの効果にある「働きながら」の言葉を「子育てしているすべての家庭にとって」としてはどうか。 働く、働かないに限らず、子育てしやすい環境を整えるのがこのプロジェクトのねらいではないか。	ご意見を踏まえ、「すくすくかわごえ」のプロジェクトの効果を次のとおり修正します。 「駅周辺に子育て安心施設を設置することにより、働いている子育て世代を含め、すべての子育て世代にとって子どもを育てやすい環境を整えます。」
11	「すくすくかわごえ」の具体的施策として、各種相談の場と、さまざまな世代間の交流ができる場とあるが、その業務を担う部門間の連携をぜひ強化した具体策を打ち出してほしい。 場所が1か所に集約されているから世代間の交流ができるわけではない。	戦略2のプロジェクト「すくすくかわごえ」の子育て安心施設の整備に取り組む中で、保育機能や相談機能など各機能間の連携や世代間交流の実現を図る取組について、検討してまいります。
12	交通拠点となる場所の近くに保育園を設置した方が良い。	戦略2のプロジェクト「すくすくかわごえ」の具体的施策において、交通拠点となる駅周辺に保育機能を併せ持つ子育て支援施設の整備を位置づけております。

川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略意見公募手続 提出意見一覧

番号	意見の要旨	市の考え方
13	川越は「蔵」という資産で観光客を呼んでおり、一般の住宅もその町並みに合うよう新築・リフォームする必要があると考える。 そのため、決められた地区に建築コードを設定し、それに従って建築した場合に、補助金等を支払う等すれば良い。	本市では、伝統的建造物群保存地区等を対象とし、町並みに合う外観の整備について修景補助等を行っております。
14	外国人観光客を呼び込むため、川越まつり、唐人揃えの行進、流鏝馬の参加者を海外から募集してはどうか。 また、欧米では「禅」に対して非常に関心が高いと聞いている。「座禅」と「精進料理」を組み合わせた滞在型ツアー提案も有効ではないか。	戦略4「川越を遊ぶ・感じる」の各プロジェクトを展開する中で、海外からの来訪者が楽しんでもらえるような滞在・体験型の観光開発等について、検討してまいります。
15	市内の高校に川越まつりに参加してもらい、川越市外から通う学生も川越に愛着を持ち、将来住んでもらえるようにする。 例えば、各高校ごとに、特徴ある山車を提案してもらい支給してはどうか。	将来都市像である「若者が住み続けたいまち」の実現に向けて、若者が川越に愛着を持ち、住んでみたいと思っていただけるよう、川越の企業の魅力発信や若者を呼び込む取組の中で、本市の魅力発信について取り組んでまいります。
16	蔵通りは、昼間は観光客が多いが、夜間は真っ暗でさびしいので、夜間の集客が必要。	夜間の集客をするための夜のまちなかの魅力創出については、戦略4のプロジェクト「キテミル KAWAGOE」の関連施策「アフターコンベンションの充実」を実施することにより、取り組んでまいります。
17	プロジェクト7「蔵 in ガルテン 川越」のグリーンツーリズムには、滞在型にして安価に宿泊できるようにすべきである。今、話題になっている民泊を利用すべき。	戦略4のプロジェクト「蔵 in ガルテン 川越」において、グリーンツーリズム拠点の整備を行うにあたり、滞在時間の延長を図る取組として、宿泊可能な施設の実現に向けて、検討してまいります。
18 ・ 19	マンションの老朽化や居住者の高齢化などのマンション管理運営等の課題解決のために、川越市内の全マンションの管理組合の団体組織を立ち上げるべきである。 団体組織が各管理組合の情報や課題を共有し、マンション再生と地域活性化に取り組むべきである。	ご意見として取り扱わせていただきます。